

コンピュータ演習 第6回

今回のテーマは、「**文書作成**」です。コンピュータを使った文書作成として、ワープロソフトの機能を利用方法の実習をします。

- ワープロソフトの基本的な編集機能を学習しましょう。
- ワープロソフトを使って、レポート形式の文書を作成しましょう

連絡事項

授業では、eラーニングのシステムを利用します。出席の確認や、課題の提出などに利用します。

- アドレス: <http://elearn.humans.hyogo-dai.ac.jp/moodle/>
- 自宅からでもアクセス可能です

今回の内容

1. [文書作成](#)

- ワープロソフトについて
- Microsoft Word 2010 の利用

2. [文書作成のポイント](#)

- ワープロによる文書作成のながれ
- 読みやすいレイアウトにする
- レポートとしての体裁を整える
- 文書としての体裁を整える

今回の課題

- 課題: [情報倫理デジタルビデオの感想レポートの作成](#)

文書作成

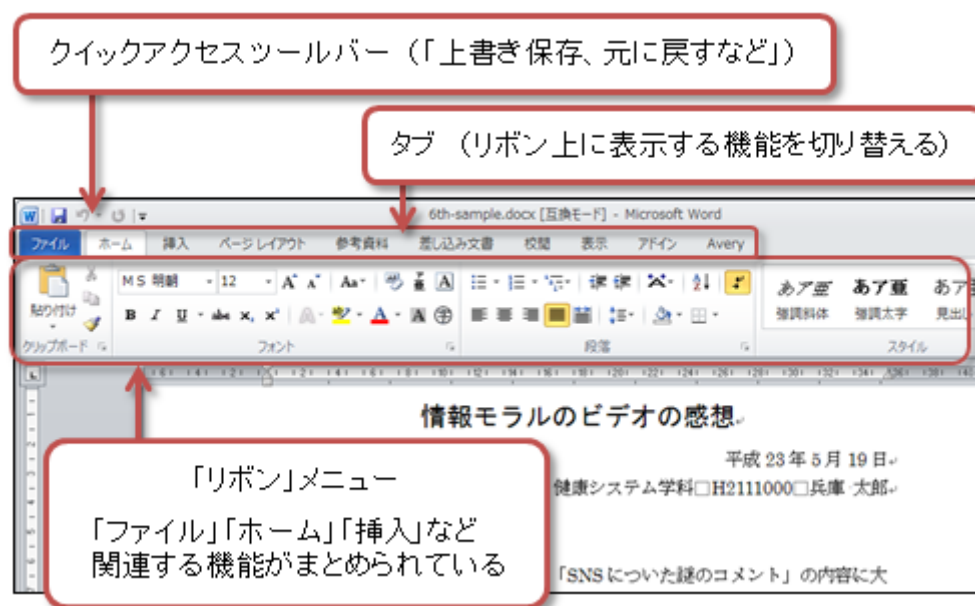
ワープロソフトとは

ワープロソフトとは、印刷を目的とした文章を作成するためのソフトです。次のような機能を持っています。

入力・編集機能	検索・置換、校正、スペルチェック
レイアウト機能	文字のフォントやサイズの設定、箇条書きと段落番号、文字送り・行間の調整
作表・作図機能	罫線の作成、図形の作成、図の挿入
印刷機能	用紙・余白の設定、印刷のプレビュー、WYSIWYG（見たままを印刷）

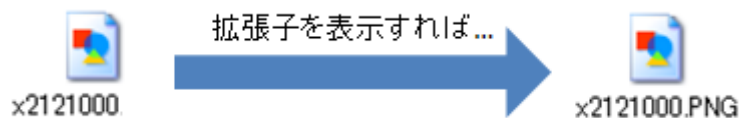
Wordの操作

代表的なワープロソフト、「Word 2010」（マイクロソフト社）を使って、文書作成を実習します。



ファイルの表示形式の設定

通常ファイルの名前には、「**拡張子**」と呼ばれるドット（.）から右側の部分があります。拡張子は、ファイルの種類ごとに異なります。例えば、第2回の授業で作成したプロファイル用の画像ファイルであれば、「x2121000.png」となり、PNG形式という画像ファイルの形式をあらわします。



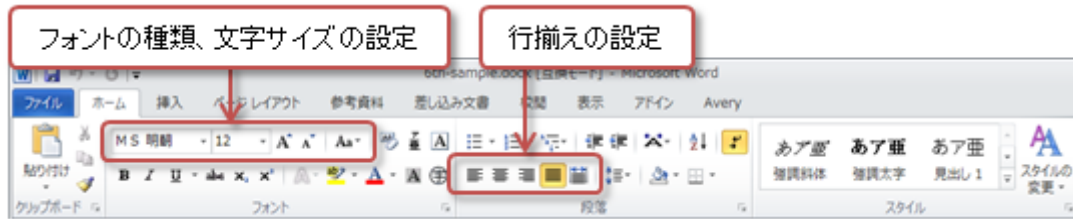
最初の状態では、拡張子が表示されていないので、表示されるように設定します。

1. デスクトップの「マイドキュメント」をダブルクリックする
2. マイドキュメントのメニューから、「ツール」→「フォルダオプション」を選択する
3. 「表示」メニューを選択し、そのなかの下の方にある、「登録されている拡張子は表示しない」をクリックして、チェックを外す
4. 「フォルダの表示」にある「すべてのフォルダに適用」ボタンをクリックした後、「OK」ボタンをクリック

レポート形式に体裁を整える

文書の先頭を整える

まず、文書のタイトルの体裁を整えます。



1. 1行目に、「コンピュータ演習(水・2)レポート」と入力
2. 2行目に、「情報倫理デジタルビデオを視聴して」と入力
3. 2行目全体を、マウスでドラッグして、範囲指定する
4. 「ホーム」タブの「段落」メニューで、「中央揃え」ボタンをクリックして、ページ中央に揃える
5. 「ホーム」タブの「フォント」メニューで、フォントを「MSゴシック」に設定し、文字サイズを「18」に設定

つぎに、日付や氏名などを整えます。

1. 3行目に、**今日の日付**を入力
2. 4行目に、**自分の学科、学籍番号、氏名**を入力
3. 3～4行目全体を、マウスでドラッグして、範囲指定する
4. 「ホーム」タブの「段落」メニューで、「右揃え」ボタンをクリックして、ページ右端に揃える

見出しをつくる

「見出し」をつくることで、意味のあるブロックごとに文書を分割し、レイアウト的にも読みやすくなります。
感想文の適当なところに、次のような見出しの文字を入力してください。

- 同意・賛成できたテーマ
- 疑問を持ったテーマ
- 全体についての感想

見出しを整える

フォントや文字のサイズを変更することで、デザインの的に読みやすくなります。

1. 見出し部分を、マウスでドラッグして、範囲指定する
2. フォントを「MSゴシック」に設定し、文字サイズを「14」に設定

注意：フォントの使い分け

フォントは、その特徴から、2種類にわけることができます。

- **明朝系**: 本文でよく使用されるフォントで、筆で書いたようなデザイン
 - 日本語フォント: MS明朝、MSP明朝、HG教科書体など
 - 欧文フォント: Century、Times Newなど
- **ゴシック系**: 見出しでよく使用されるフォントで、角ばったデザイン
 - 日本語フォント: MSゴシック、MSP明朝、メイリオ、HG創英角ゴシックUBなど
 - 欧文フォント: Arial、Verdanaなど

MS 明朝、HG 教科書体、Century、Times New

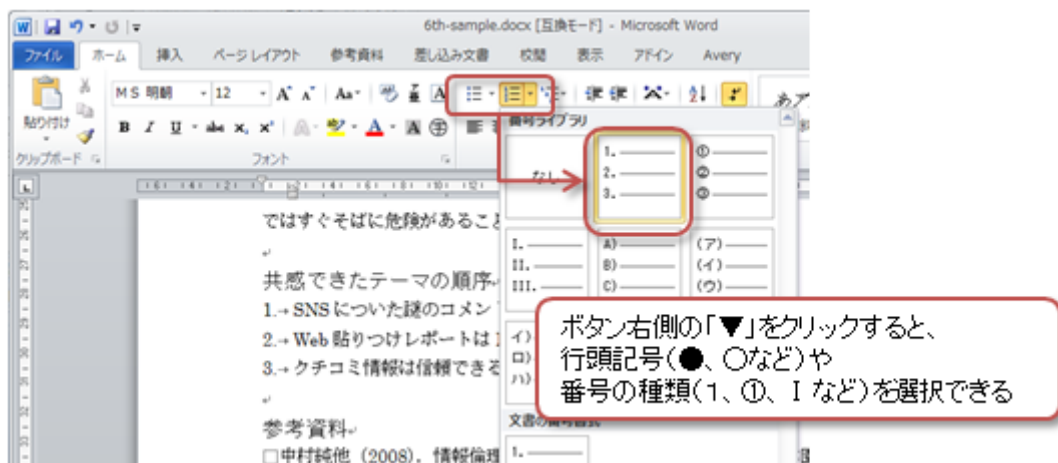
MS ゴシック、HG 創英角ゴシック UB、Arial、Verdana

箇条書きをつくる

3つのテーマを共感できた順に、箇条書きにしましょう。

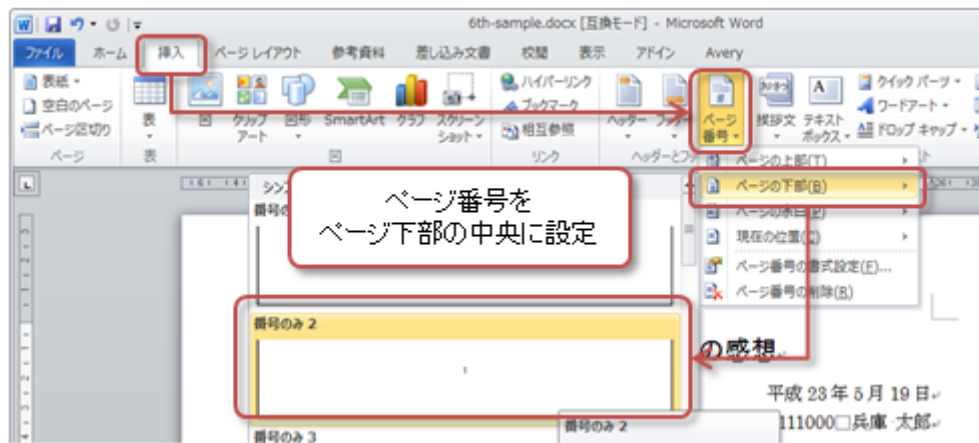
(例) 共感できたテーマの順序 ← 見出し
SNSについての謎のコメント ← 内容に共感できた順でテーマ名を書く
Web貼りつけレポートはNG
クチコミ情報は信頼できる？

1. 見出し部分を、マウスでドラッグして、範囲指定する
 2. フォントを「MS ゴシック」に設定し、文字サイズを「14」に設定
 3. テーマ名を書いた3行分をマウスでドラッグする
 4. 「ホーム」タブの「段落」メニューで、「**箇条書き**」か「**段落番号**」をクリック(右側の「▼」をクリックすると種類を選択できる)
- 箇条書き: 番号が付かない箇条書きになる
 - 段落番号: 番号が付く箇条書きになる



ページ番号をつける

文書としての体裁を整えるために、文書には**ページ番号**をつけましょう。



1. 「挿入」タブの「ヘッダーとフッター」メニューで「ページ番号」をクリック
2. メニューで、「ページの下部」→「番号のみ2」を選択
 - メニューで「ページ番号の書式設定」をクリックすると、番号に使う文字や開始番号などが設定できる
3. 「デザイン」タブの「ヘッダーとフッターを閉じる」をクリック

第6回の課題

レポート形式の文書の作成

前回の課題として提出した、ビデオ教材（「情報倫理デジタルビデオ小品集3」）を視聴した感想（手書き）をもとに、ワープロソフトを使って、レポート形式の文書をまとめてください。

次のポイントを守って、作成してください。

1. 「[文書作成のポイント](#)」で説明した手順で作成すること
2. 文書の最後に「参考資料」として、次の文章を追加する

参考資料

中村純他 2008 『情報倫理デジタルビデオ小品集3』 放送大学学園。

3. 興味を持ったテーマについての文章で、自分がアピールしたい部分の**文字色を赤に設定**すること。
4. 全体の感想の文章で、自分がアピールしたい部分に**下線(二重線)を設定**すること。

ファイルの保存

課題のファイル名は次のとおりです。

- 保存先: マイドキュメント
 - できれば授業用のフォルダを作って、ファイルの管理をすることをおすすめします(例: コンピュータ演習)
- ファイル名: 「0521」+「学籍番号」+「.docx」を設定 (**すべて半角文字で**)
 - 例: 学籍番号がC2121000の場合、ファイル名は「0521c2121000.docx」

課題をファイルに保存するときには、次のように操作してください。

1. 「ファイル」タブをクリック
2. 左側のメニューから、「名前を付けて保存」を選択
3. ウィンドウが開くので、保存する場所を選択してから、ファイル名を入力する
4. 「保存」ボタンをクリックすると、ファイルに保存される

課題の提出

保存できたら、eラーニングのシステムにアップロードして、課題を提出します。

1. 『第6回の課題』をクリック
2. 「参照」ボタンをクリックして、ファイルの一覧を表示
3. 保存したファイルをクリックして選択した後、「開く」ボタンをクリック
4. 「ファイルをアップロードする」ボタンをクリック
5. 「ファイルが正常にアップロードされました」と表示されたら、提出完了！

提出期限

- 次回の授業の開始時間までとします。
- 提出期限を過ぎても、必ず提出すること(あまり遅すぎると成績に影響する場合があります)。